

審議会等の会議の概要の記録

| | |
|----------------------|---|
| 会議の名称 | 令和5年度 第2回甲州市社会教育委員の会 |
| 開催日時 | 令和5年7月26日 13時15分～14時15分 |
| 開催場所 | 甲州市中央公民館 2階 大会議室 |
| 議題 | (1) 「高校生の目を通して地域を考えよう」 ～高校生と大人の本音の語り合い場～について (2) その他 |
| 出席委員 | 宿澤齊委員、窪田道忠委員、中村澄可委員、山本睦委員、 里吉武仁委員、丹澤千明委員、渡邊尚英委員、小林正治委員、 三枝照子委員、石田春雄委員 |
| 会議の公開又は非公開の区分 | 公開 |
| 会議を一部公開又は非公開とした場合の理由 | |
| 傍聴人の数 | 0人 |
| 審議概要 | 別紙のとおり |
| 事務局に係る事項 | ※事務局の課・担当名、連絡先、出席人数等 甲州市教育委員会 生涯学習課 社会教育担当 連絡先：甲州市教育委員会 生涯学習課 社会教育担当 0553-32-5097 5人 |
| その他 | |

《事務局L》

皆様こんにちは。

大変暑い中、また、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

まだ、お見えでない委員さんもいらっしゃいますが、定刻となりましたので始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

開会に先立ち、古屋委員、飯島委員、広瀬委員、雨宮委員、田辺委員、坂本委員から欠席する旨の連絡がありましたので、ご報告をさせていただきます。

ただいまから令和5年度第2回甲州市社会教育委員の会を開催いたします。

初めに相互に挨拶を交わしたいと思います。皆様ご起立ください。

相互に礼、よろしくお願いいたします。ご着席ください。

《事務局L》

教育長あいさつ

本日、教育長より欠席の連絡を受けておりますので報告させていただきます。

生涯学習課長より挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

皆さんお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。今回は第2回目となります。今回の議題も重要な議題がありますので、またご審議ご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

《事務局L》

議長あいさつ

議長よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

皆さんこんにちは。この会議に出席いただきまして本当にありがとうございます。

先日、県の総会がありました。甲州市では3人の方々が表彰されました。

窪田副議長、里吉副議長、三枝さん本当におめでとうございます。

長年苦勞していただき表彰させていただきました。本当にありがとうございました。今日の議事についてですが、高校生との語りの場について審議していただきたいと思っております。それから事前勉強会についても皆さんにお聞きしたいことありますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。以上です。

《事務局L》

山本議長ありがとうございました。

それでは、議事に入ります。

進行は議長よろしくお願いいたします。

《議長》

議事(1)令和5年度高校生の目を通して地域を考えよう、高校生と大人の本音の語り場についての議題といたします。

事務局の説明をお願いします

《事務局L》

はい、事務局より説明させていただきます。着座にて説明させていただきます。よろしく願いいたします。

4月の第1回の定例会時に高校生と大人の本音の語り場を実施するというご承認をいただきました。開催要項についてご説明をさせていただきます。

自ら行動する社会教育委員を目指して、今後の甲州市について世代を超えた意見交換を行い、甲州市に新しい風を吹かせる若者づくりの足掛かりとなればと考える中で、地元の塩山高校が、地域に目を向けどのように地域と接触をして行くかの学習を実施していることを知り、地域の若者代表として高校生を巻き込んでテーマを決めて調査・研究・活動を行う。この高校生の目を通して地域を考えよう、高校生と大人の本音の語り場を平成29年度からスタートさせ今年で5回目となります。

内容につきましては、第一回定例会後の7月に、塩山高校の担当、古守先生と内容と開催日程等について打ち合わせをさせていただきました。

語り場のテーマとしてSDGs 17の目標のうちの、5、ジェンダー平等を実現しようとして副題を「すべての人が幸せに暮らせる社会」がよいのではないかと提案を受けました。このテーマにつきましては、昨年度、委員の皆さんからのアンケート結果にもありました。高校と委員さんとのテーマが一致しましたので、この内容で開催したいと思います。今年度の実施日についてですが、学校行事等の関係もあり、12月4日、月曜日、午後1時30分から午後3時20分の1時間50分を予定しております。参加していただく生徒は3年生の商業科の1クラス20名前後、開催場所は塩山高校の創設館で行う予定であります。語り方方法ですが、昨年同様にグループワークで社会教育委員の皆さんと高校生が一つのグループになり、大人の考えと、生徒の思ったことを7分間程度で付箋に書き出していただきまして、この付箋を分類分けしながら、模造紙に貼っていきます。付箋の内容を考えていた理由や経緯などを話し合いながらまとめていき、最後にグループの方ごとに発表していただきます。次にグループ分けについてですが、1グループ、高校生3、4人と委員の皆さん3、4人でグループを作りまして、リーダー役の1名ですが、こちらは委員さんをお願いし、発表者数名、こちらは高校生をお願いしたいと思っております。

委員の皆様の当日の出欠席を確認させていただきまして、最終的にグループを決定していきたいと考えております。また、こちらでスケジュールにまとめて提示した

と思いますのでよろしく申し上げます。

次に、今年度も語らいの場の事前学習会を開催したいと考えております。

日程につきましては、講師の先生のご都合を伺う中で、10月に午後2時から甲州市中央公民館で開催する予定であります。講師には、山本議長からのご意見をいただいた中で、県の社会教育委員でもあります富永貴公氏にお願いをしたところであります。現在、都留文科大学にいらっしゃいます。誠に残念ですが、10月は入試等があり大変お忙しいということで、富永先生より2名の方の推薦をいただきました。

1名は都留文科大学の堀川修平先生、もう1名は早稲田大学の古堂達也先生に依頼する予定であります。講師の方に2日ほどの日程案をいただき委員さんの出席の多い日で決定したいと思います。詳細等につきましては、決定次第、出欠席とともに後日通知をさせていただきたいと思っております。委員の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。今年度もアンケート調査を塩山高校の全校生徒の皆さんにお願いいたします。事前勉強会10月までにはアンケートを集計し、高校生がどのようなことを考えているか把握し、参考にしたいと思っております。

説明は以上になります。よろしくお願ひいたします。

《議長》はい、ありがとうございました。

説明が終わりました。ここで質疑を受けたいと思っております。開催の目的、日時や場所、テーマなどについては事務局から説明がありました。また塩山高校からの要望もありました。詳細は高校生の学校と事務局で協議していただいておりますので、このような形でよろしいでしょうか？ご意見ありますか。

《委員》

5回ずっとこれに携わりました。付箋に書くほうが忙しく、高校生と一緒に語らう時間がないです。事前に書いといてもらっておいてプラスアルファその中に入れていただくと、やはり語らいの場ですから、語られる時間をちょっと多くいただきたいと思っております。以上です。

《議長》

最初は1時間30分、次は45分だったです。今それから1時間50分という、塩山高校も内容を多くし時間を多くしてあります。やっぱり高校生の語らい場なので語られる場合が少ないから、たくさん語りたいという要望があったのを塩山高校伝えていただきたいと思います。

7月のいつ塩山高校に行かれましたか。

《事務局L》

7月11日です。

《議長》

7月の11日に事務局と古守先生と話をした中でいろんな去年の反省からいろんなスケジュールを立ててくれるっていうことになりましたので学校の方にもいろいろ伝わっていると思います。去年の反省から、やっぱり少し語りの場が少ないのではないかと、例えばご挨拶も長かったりとそういう部分を削っていくことで、少しずつでも課題もなくなるかと思しますので、学校の方におまかせしたり、事務局の方にその件おまかせします。よろしいでしょうか。

《事務局L》

高校にも何度か打ち合わせに行きたいと思しますので委員さんの意見もお伝えしたいと思えます。授業の時間として1時間50分になりますのでその限られた時間で、高校生との交流の時間がとれるように調整したいと思しますので、よろしく願います。

《議長》

では次に事前勉強会の件ですけども、私も富永先生を推薦させていただいたのですが、スケジュールが合わないということも含めてお二方を推薦いただきましたので、どういふ方かは、富永先生が一番よくご存知なので、それも事務局の方におまかせしてスケジュール調整していただいでよろしいですか。たくさんの方の参加を願います。

《事務局L》

ありがとうございます。調整させていただきたいと思えます。

《議長》

その他何かありますでしょうか。

《事務局L》

事務局から願います。

先ほど議長の挨拶にもございましたが、ご報告になります。6月9日に山梨県社会教育委員連絡協議会通常総会がございました。

そちらで、里吉副議長、窪田副議長、三枝委員の3名が表彰を受けました。

おめでとうございました。

次に、第54回関東甲信越静社会教育研究大会が栃木県で行われます。

皆さんのお手元にチラシを置かせていただきました。出欠席の人数の把握をさせていただきたいので期日までに回答をお願いいたします。

もし、本日予定がもうわかるという方はこのあとご提出いただきたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。以上です。

《議長》

まだ、お話ししたいことがあればこの機会にどうぞ。

《委員》

以前にもお話させていただきましたが、塩山高校近くでの農作業のごみの話しをしていいでしょうか・・・

例えば、地域と塩山高校の人たちの話し合いの中で、話しをするということからすれば、塩山高校の人たちが通うときに、煙たいよと。剪定枝を燃やすという私に耳に触れていた話しということで、地域として地場産業のなかでやっている話しで、どうしても避けられないですけど。地域としての取り組みとしては、例えば枝の捨て方について工夫し枝を細かくしたり、土に埋めたり、私の記憶からすれば、だいぶ改善出来ている時代なのかな。そのような取り組みをしている。

地域の話として生徒さんに話しできる内容があればいいのかなと思います。

《議長》

話し合いの語り場の中で、そのテーマに沿ってお話をしたばかりではなくって、実は私達のグループも椅子をみんなで作ろうよ。今の話みたい草を燃してという話もそうですけど、何かそのテーマで子供たちが本当に心を開いて話しができた場になった。そういう場が形としてジェンダーの話をするときと難しい話になってしまうかもしれませんが、ちょっとずれても、高校3年生と語りができる機会はないので、ただ本当にその一つの1時間50分の中で、子供たちはすごく成長している、大人とこんなにざっくばらんな話ができたとすることも、一つの目的ですので、ぜひ硬くなりがちなお話ならずにやわらかい話しで、その会を進めていただければ思っております。

それには事前学習で、どうやったら高校生の心をつかむかというところまでやっばりお話を聞いていただくことも大事と思っておりますので、前回お話ししたように高校生がスカートではなくてもズボンでもいいとなりました。ズボンに対して女子に対してはそういうところでの状況もちょっと話しはなかったと思うのですが、高校3年生が発表会かをした折にSDGsなんか一番興味を持つのが5番だったそうです。ジェンダーを考えるとそれはある意味では男女差ってというか男女共同参画ではないけど、そういう意味では子供たちがすごく敏感になっている精神的な部分です。

私たちのグループもですが。子供たちが1枚の付箋に書いていました。
具体的に書いていただけるので、ぜひ皆様が心の支えになるぐらい、1時間50分であればいいかなと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

《事務局》

社会教育委員の皆さんが各班のリーダーになりますので、その際はその時間内でそのことを含めてやっていただければと思います。テーマとしてまた委員さんが話したいことを、一つ二つ自分の持ちネタじゃないですけども、用意していただいて、時間内にテーマともう一つ、高校生の目線から見られるところの部分でやっていただければと思います。

《議長》

そのようなことです。ざっくばらんにお話していただければと思いますので、よろしくよろしくお願いいたします。その他ありますか。

《委員》

関連ですけど、高校3年生と、市外から来ている人たちもおるので、トータル的にざっくばらんに学校生活はどうか。有意義になる時間帯も設けてもらってもいいじゃないですか。いろいろ意見が出てくると思いますが、もう事前に高校生も話したい内容、別途ですね考えがあって、意見を出してもらって形でいいじゃないかと思っています。

《委員》

高校生にアンケート取ってもらってるので、何かこういう項目が入っていたら参考にさせていただきたいと思います。

《議長》

事務局ちょっとアンケートの内容についてなんですけども。

《事務局》

基本的にはアンケートは高校からの情報をいただいて、次に今回テーマとするSDGs 5番についてとります。追加項目として事務局の意見をアンケートに盛り込むではないので、委員さんが私どもに投げただければ、内容を反映させていきます。集約を実施して反映することは時間的に難しい状況です。アンケートではなく、当日に課題としてリーダー役に社会教育委員の皆さんが高校生に言葉かけをしていただければと考えています。

《議長》

よろしいですか。

アンケートの案はできています。具体的ではないですけど、先ほど言われたようにSDGsの5番についての考え方とか、興味を持っていますかという、そういうような内容です。それ以外のことは、当日、何か皆さん考えていることで対応していただければと思います。今この場で具体的に盛り込むことがあるでしょうか事務局で伺っていますが。

《委員》

そうですね。広すぎて学校でも困っちゃうと思うので、アンケートは事務局でお願いします。

《議長》

今までの流れもそうですが、学校で議題にして欲しくないところをこちらの方で要求すると、ちょっとまずいということもありますので、ぜひそこは事務局と学校との話し合いの中で進めてください。

《議長》

子供たちも具体的にたくさん取るのを嫌がってしまいますので、学校と事務局とで考える中であんまり重くならず、子供たちがアンケートをしてもらいやすい内容を学校側に示していきます。その中で、ご意見要望が何かありましたら当日委員さんが何かジェンダーとかそういうこと以外の項目を入れていただければと思います。よろしいでしょうか。

《事務局》

学校と事務局の打ち合わせでよろしいでしょうか。

《委員》

はい。

《議長》

いい内容の議論ができたかと思います。よろしいでしょうか？

《議長》

はい、では、その他はこれ以上ないようですので、ここで議事を終了いたします。事務局の方へお返しします。

《事務局》

はい。山本議長、スムーズな議事の進行ありがとうございました。

また委員さんからのたくさんの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。以上を持ちまして、第2回甲州市社会教育委員の会を閉会させていただきます。引き続きこの後、かるた大会の打ち合わせ会をさせていただきます。8月5日当日にご協力いただける方の皆様は引き続きよろしくお願い致します。

終了。